

バスターミナルか
ら数分 駅前のビ
ルと広場の森とフ
アミレス

買い物ついでの用事へ近くの街へ出向
いていた女子は駅の西口を出た。

・・・すぐ近くに森を見つけた。

それはポケットの中であり、よくよくよく見た空の凝視ついでに。

夕方から降りだした雨は夜の帰宅時間のピークを過ぎてもまだ降り続いている。

駅。女子の肌の露出した季節外れのファッション。

・・・○

その日の午前模様（もよう）柄のホテルのエントランス。

女子たち同士の噂話でとある広場の森の話題が出ていた。

その日の夜、電灯の近く、

怪しげな大雨が急に降り始めた。

女子の一人は小走りでビルの軒下に逃げ込む。

雨はしばらく続きそうなのでビニール傘を買おうとビルから離れた道路の向かいにある売店に目を向けた。

その日確かどこかで雨が降ることを聞いた記憶があったが、

ロビーの前。ビルの中へは入らず軒先で立ちポケットからスマホを取り出した。

女子トモダチたちからＬＩＮＥが届い

ていた。

“昨日の森の話なんだけど”

とある温泉の脱衣所。女子は腰まで下ろした下着を・・・。

森は広場のすぐ近くにある。

広場に面している不気味な森で駅の南側から少し歩けば見える場所にある。

トモダチから届いたＬＩＮＥはその日の午前に女子たちが話した内容とは少し変わっていた。

ビル軒先。止むことなく雨が降っている。

道路にはたくさんの乗用車が行き交っている。

都会と地方方面との境目中間都市。

路肩のガードレールや歩道は濡れてい
る。

次の日は休みである。

心持ちはリラックスしている平日の夜。

雨は少なくなってきたので女子はまだ傘を買おうか迷っていた。

結局小雨の中距離も近いということで
そのまま駅方面へ。

トモダチたちとのラインの話題で出て
きた広場の森について。

女子は少し濡れたカラダに密着したティーシャツの二の腕辺りに手を触れた。

そして太もも。

ふと以前にその付近、駅の真ん前のバスターミナルから映画館へ知人と遊びに行つたことを思い出した。

心持はだいぶ晴れやかである。

帰りにも雨が降っていたような気がするが・・・。

道路向かいの売店は深夜まで開いてい

て、まだ降る小雨と帰るだけの予定、駅前までは買わない選択をしたわけだが。

(体験版は以上になります。ご読了あり
がとうございました)